

## 協定校留学帰国報告書

記入日	平成 29 年 1 月 31 日
所属	人文学部人文コミュニケーション学科
学年	3年
留学先大学	インドネシア教育大学
留学開始・終了時期	平成28年8月 ~平成29年1月 (留学開始時期 3 年次) ( 5 月 )

### 1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
小さいころから海外というものに興味があった。大学在学中に、留学をとおして海外の大学で勉強をしながら、異文化体験や異国の地で長期間生活してみたいと思い海外留学をしようと思った。また、日本語教育プログラムの最終科目である日本語教授法演習を海外の大学で行ってみたいと思った。
② この協定校に決めた理由を教えてください。
前述したとおり、日本語教育プログラムの教授法演習が実施可能な大学であったためこの協定校にした。インドネシアは物価が安いということもあり、両親を説得しやすいと思ったことも理由の一つである。
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
留学の条件に TOEFL は必要なかった。前年度にインドネシア教育大学に留学した人から、インドネシア語が全く出来なくても大丈夫というようなことを聞いたため、自己紹介を勉強したのみであった。
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。
卒業にかかわるので、4年で卒業したいのであれば、できる限りの単位はとっておいたほうが良いと思った。私の場合、就職活動は行わずに大学院を希望しているため、特に心配はなかった。
⑤ どのような保険に加入しましたか。( ) に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 ( ) b. 個人の保険のみ ( ) c. 大学指定の保険と個人保険の両方 ( ) d. 大学指定の保険のみ ( ○ )
⑥ 予防接種は必要でしたか。( ) に○をつけてください。
a. はい ( ) 具体的に： b. いいえ ( ○ )

## 2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。
留学先ではインドネシア語の授業のみを履修した。BIPA という外国人向けのインドネシア語コースで週3回授業があり、1回の授業時間は約2時間半であった。初級向けのクラスでは、主に日常会話や簡単な文法、文章読解などすぐに使えるようなインドネシア語を学んだ。授業外に国際交流のイベントやインドネシアの文化体験、Bandung 市内の観光などもある。
② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。
授業が簡単だったり、物足りなく感じるようなら、教員たちに相談して上のクラスに上げてもらったり、プライベートレッスンに切り替えてもらったりする必要があると思う。幸いなことに、茨城大学から交換留学生として派遣されれば、プライベートレッスンも無料で受けることができる。
③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。
クラスメートとの共通語がインドネシア語だったため、授業外でも言語を使う機会が多かったように思う。インドネシア語は比較的取得しやすいという印象であったが、授業中に自分から発言をすることで言語を話す自身などもついたように思う。

## 3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか
インドネシアの中でも都会のほうであるが、治安も非常によく近所の人たちも温かい人ばかりだった。インドネシア教育大学はキャンパスが非常に広く学生たちも学びたいという意欲にあふれている印象だった。学生たちはとても明るく人懐こい性格が強く印象に残った。アンコットという乗り合いタクシーのような乗り物で大体どこでも行くことができる。外国人向けのモールがあったり、観光地も多いので休日も楽しめた。
② 留学中はどこに住んでいましたか。
a. 寮 ( ) : 何人部屋でしたか ( 人) b. アパート ( ○ ) : 何人部屋でしたか ( 1 人) c. ホームステイ ( ) : 何人部屋でしたか ( 人) d. その他 ( ) 具体的に :
③ 住環境はどうでしたか。
日本語学科で指導教員を務めてくださった先生がオーナーをしているアパートに住まわせてもらった。最上階の先生のプライベートフロアも貸してくださり、快適に生活することができたと思う。自室には、お湯の出るシャワー、棚が2つ、鏡、ベッド、布団などが用意されていた。アパートの周りにはご飯の店が多くあったため、食事にも困らなかった。
④ 食事はどうしましたか。
a. 大学・寮のミールプラン ( ) b. 主に外食 ( ○ ) c. 自炊と外食が半々程度 ( ) d. その他 ( ) 具体的に :

⑤ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。

他の留学生とは、インドネシア語の授業を通して授業中に徐々に距離を近づけていった。現地の学生とは、日本語の授業で仲良くなったり、一緒に遊びに行ったりして交流を深めた。日本語学科の学生たちは日本人と友達になることを強く望んでいたと思う。また、学生たちは非常に人懐こいので、こちらが心配しなくても自然と友達が増えていった。

⑥ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。

休みの日は、日本人の友達と遊んだり、日本語の授業の準備をしたりした。長期休暇には友達と国内旅行へ2回いった。インドネシア国内の旅行であれば費用も抑えられるし、軽い気持ちでいくことができた。

⑦ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

あからさまに怪しそうな食品管理をしている店には行かないほうがいいが、あまり疑いすぎるのもよくないと思う。何より疲れているときは休息をとることに限ると思った。

⑧ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。

イスラム教徒が多いため、だんだんと露出の多い服を着ることに抵抗を覚えるようになった。また、東南アジアにしては涼しいため、長袖長ズボンでも過ごしやすいこともあった。また、トイレにペーパーがないこともあるので、トイレトペーパーか、安いティッシュを持ち歩くようにしたほうがいい。

#### 4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

渡航費(往復の航空運賃)	150,000 円
保険代(旅行保険・留学先大学で加入する保険など)	40,000 円
住居費(寮費)光熱費等含む (月額)	15,000 円
食費 (月額)	10,000 円
その他	12,000 円
総額 (留学期間中の費用総額)	200,000 円

#### 5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。

a. ( ○ ) 4年で卒業予定

b. ( ) 卒業は延期する予定 (延長予定期間: )

② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)

今後は日本語教育の勉強を大学院で継続していきたいと思っている。滞在中に Japan Foundation の方や日本語パートナーズの方々などと交流する機会や、他大の教授や院生と知り合う機会もあるので名刺などをもらっておくといいと思う。

#### 6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。

日本語教育の面では日本語をうまく教えられる自信は正直ないが、一人で大学の授業をこなす度胸はついたように思う。また、日本人、インドネシア人、ほかにもたくさんの交友関係を持てたことで、充実した留学になったと思う。帰ってきたらあつという間だったと思うが、楽しかったの一言に尽きると思う。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

留学前は、この留学を通してなんでも一人で乗り越えられるような自信を持てるようにしようと意気込んだが、結局たくさんの人々に助けられながら毎日を過ごしていたため、自分のこの性格だから、みんなも助けてくれるのだと考えを変えることができた。また、ただの大学3年生でも日本語を勉強する学生にいい影響や勉強に励むきっかけを与えられることができるのだと感じることができたと同時に、自分自身もさらに勉強を頑張ろうと思った。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

少しでも迷っているのであれば留学にチャレンジしたほうが良いと思います。たとえ3か月であっても、一人で飛行機に乗って、異国の地で生活することで自分のことをほんの少しでも誇りに思えたり、自分を好きになることができると思います。